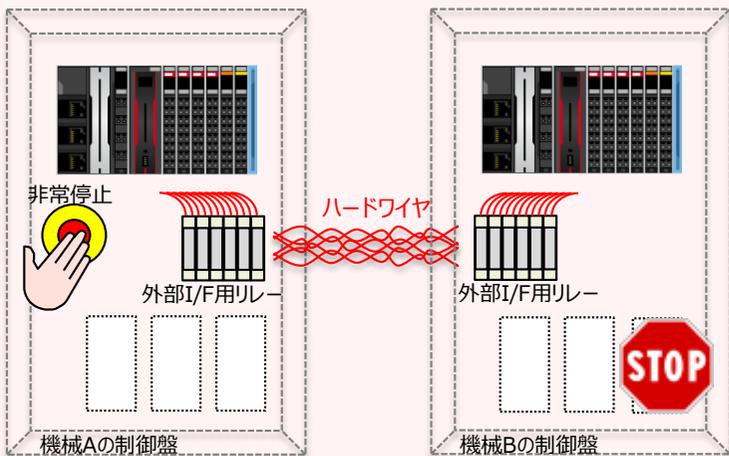


NXセーフティコントローラを使えば、独立した装置間での安全信号のやり取りが簡単にできます！

課題



お客様：
機械にはそれぞれの制御盤に安全の制御がある。ただ製造ラインに組み込んだ時、隣の機械も止めたりする必要があるのであるよね。

オムロン：
どうされているんですか？

お客様：
それぞれにインターフェース用のリレーを設けてハードワイヤで配線している。これもなくせたらいいな・・・

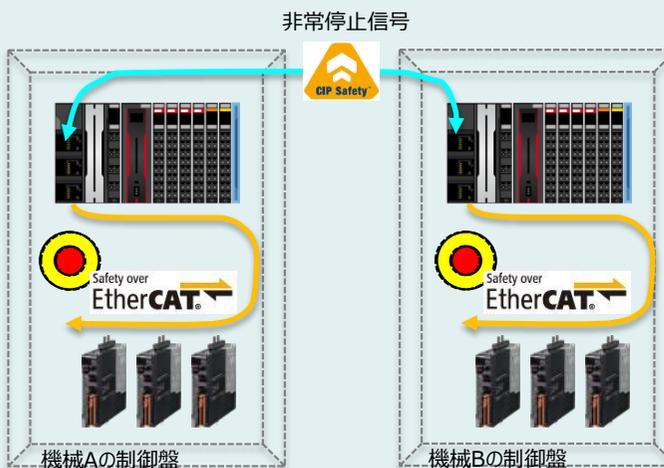
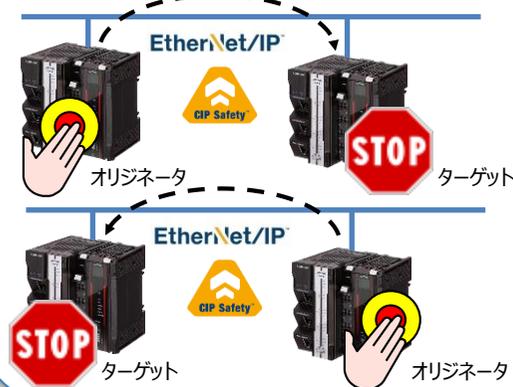
解決案

EtherNet/IPベースの安全プロトコルCIP Safetyを使えば異なるCPU間でも安全信号をネットワークでやり取りでき、機械間のインターロックを実現します。



SysmacStudio: EtherNet/IPセーフティコネクション設定画面

EIPのコネクション設定でオリジネータとターゲットの関係を作り安全信号をやり取りします。



マシンコントローラ NX102とNX-SL5500との組み合わせなら、

- 機械と機械をCIP Safetyで、簡単かつ安全に接続
- 機械の制御盤内のサーボ(1Sシリーズ)などもEtherCATで、簡単かつ少ない配線で接続

というように2つのネットワークを使い分けることができます。

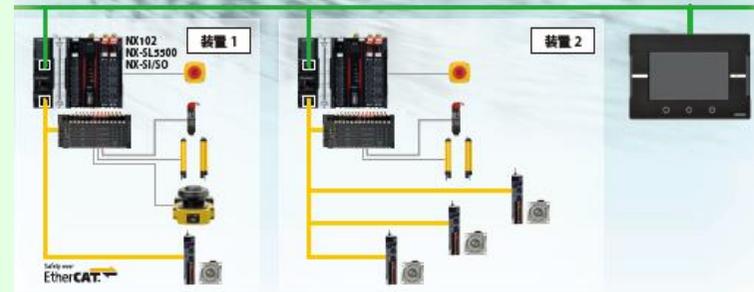
効果

ハード配線をネットワークに変えることで配線の工数削減と立ち上げ時間の短縮ができるほかに…

- 製造ラインレベルでは一般制御と安全制御のネットワークをEtherNet/IPを使って、工程ごとにモジュール化された機械をフレキシブルにレイアウト可能



マシンコントローラNX102とNX-SL5は、装置内の安全制御を行いながら他の装置とのインターロック信号のやり取りを同時に実行することが可能です。



- 各種の産業用ロボットの統合

CIP Safetyは産業用ロボットにもますます活用が広がっています。これに対応したマシンコントローラNX102とNX-SL5であれば簡単に構築が可能です。



- 機械レベルではEtherCATの同時使用で、モーションまでを含めた高速タクトに追従する安全システム

シンコントローラNX102とNX-SL5を組み合わせることで、EtherCATの高速・高精度な制御性能と安全ネットワークを活かしたシステムを構築できます。

- これらすべてをイーサネットコネクタのワンタッチで実現します

イーサネットコネクタ

